

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #14

持続可能な農業に向かって!!

山椒の「産地形成プロジェクト」

宮崎県高千穂郷・熊本県奥阿蘇（計8町村）で「山椒」のブランド化を図るため、本年4月から山椒の「産地形成プロジェクト」が本格始動しました。

本プロジェクトでは、生産者、(株)杉本商店、ハウス食品グループ本社(株)、(株)ヴォークス・トレーディング、南九州大学が共同で生産者拡大とブランド化に取り組み、山椒の苗木生産は地元の高千穂高校で行うことを計画しています。



- ・ 高千穂町で栽培している山椒（ブドウサンショウ）
- ・ 高千穂高校生の収穫作業(中段)
- ・ 収穫された山椒の実(下段)

高千穂町で原木栽培の乾しいたけを販売している(株)杉本商店は、収穫した山椒の乾燥に、しいたけの乾燥機が使えることや、山椒の収穫期が8月で春秋が繁忙期のしいたけ生産者でも栽培できること、また、山椒が増えることで、しいたけ生産者の収入が増えることが見込まれると考え、2021年に山椒の栽培を開始しました。

山椒の研究をしている南九州大学(都城市)の前田教授や農業改良普及センター(宮崎県内)の協力もあり、県北の海岸近くから標高の高い7カ所で試験的に栽培し、全ての地域で生育を確認することができました。2022年から実証研究を始め、現在は、高千穂町などの約50戸が栽培し、本年7月に初収穫が行われました。

また、業者に生産を依頼している山椒の苗木については、将来的に県内で生産することを地元の高千穂高校に相談し、今年から同校で苗木生産に向けた準備をスタート。さらに9月1日には、生産流通科の生徒(2年生8名)が、オリジナル商品等についてアイデアを出し、活発な意見交換を行いました。



高千穂高校生との意見交換の様子(杉本和英社長(左)、前田隆昭教授(右))



拠点のうごき

スマート農業の農林水産大臣認定 !!

九州初

～ 農業の生産性の向上のために
新たな生産方式の計画を導入 ～



宮崎県内の3事業者に、菊池地方参事官からスマート農業技術活用促進法(令和6年10月1日施行)に係る生産方式革新実施計画の農林水産大臣認定証を手交しました。

●9月9日手交

(株)ファームヤマザキ(えびの市)は、スマート農業機械(自動操舵トラクター・ロボット田植機・農業用ドローン)を導入し、水稻及び露地野菜の作業効率化と労働生産性向上の取組について認定。

(株)三共作業場(西都市)は、スマート農業機械(自動操舵トラクター・水管理システム)を導入し、畦畔除去(ほ場拡大)やレーザーレベラー(均平化)による水稻の作業効率化と労働生産性向上の取組について認定。

●9月11日手交

合同会社 継(西都市)は、スマート農業技術(総合環境制御装置)を導入し、施設外の環境影響を受けづらい「高軒高(こうのきだか)ハウス」による、品質・収量の向上、労働力削減作業効率化で収益性アップの取組について認定。

※(株)ファームヤマザキ、合同会社 継は、九州地域の認定第1号



専務取締役の梶井(かこい)誠さん(右)



オペレーターの梶井武さん(中央)



代表取締役の外山剛志(たかゆき)さん(右)



自動操舵トラクター



代表取締役の黒木誠さん(右)

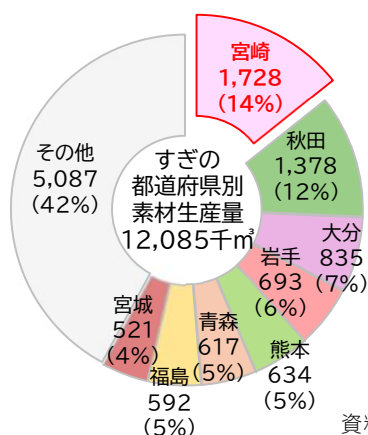


意見交換の様子

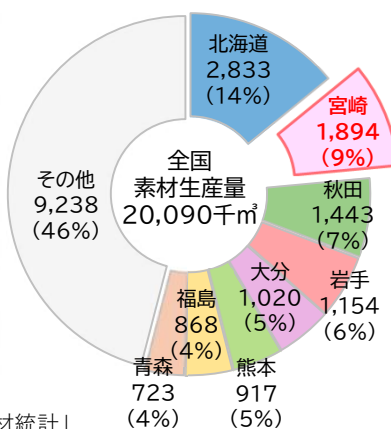
データで見る宮崎の木材 !!

- 宮崎県の国産材の素材(丸太)生産量(令和6年)のうち、「すぎ」は1,728千 m^3 で、都道府県別生産量割合では14%を占め、**全国1位**となっています。平成3年以降、**34年連続1位**です。
- また、宮崎県の国産材全体の素材(丸太)生産量(同年)は1,894千 m^3 で、**全国2位**(全国に占める割合9%)となっています。

すぎの都道府県別素材(丸太)生産量



国産材の都道府県別素材(丸太)生産量



資料：農林水産省 「令和6年木材統計」

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

厳しい残暑が続いていますが、県内でも栗などの収穫が始まり、季節は着実に秋へと向かっているのを感じます。

先日、夏休みを取って屋久島へ行きました。屋久島は1か月で35日雨が降ると言われますが、幸運にも天気にも恵まれ、宮之浦岳(1936m、九州最高峰)の山頂から見える360度の大パノラマを堪能しました。これからの季節、紅葉登山に出かけてみてはいかがでしょうか。(I)